

# 和解仲介申立書

平成 年 月 日

原子力損害賠償紛争解決センター 御中

|           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| 申立人<br>計名 | 住所(現在)〒                        |
|           | (事故時)〒<br>氏名 ( 年 月 日 生まれ)      |
|           | 氏名 ( 年 月 日 生まれ)                |
|           | 氏名 ( 年 月 日 生まれ)                |
|           | TEL - - FAX - -                |
| 代理人       | 住所(所在地)(送達先)〒                  |
|           | 氏名 印                           |
|           | TEL - - FAX - -                |
|           | 住所(所在地)(送達先)〒                  |
|           | 氏名 印                           |
|           | TEL - - FAX - -                |
| 相手方       | 〒100-8560                      |
|           | 住所(所在地)<br>東京都千代田区内幸町1丁目1番3号   |
|           | 氏名(会社名・代表者名)<br>東京電力株式会社・西澤 俊夫 |
|           | TEL 03-6373-1111(代表) FAX - -   |

家族が多い方は、裏面も利用して、お書きください。

和解仲介パネル

調査官

|        |  |
|--------|--|
| 申立ての趣旨 | <p>1 申立人と相手方との間で以下の和解仲介を求めます。<br/>請求金額<br/><b>申立人の被害の実情をふまえた、相当な金額を請求します。</b></p> <p>具体的な請求金額は、追って提出します。<br/>今回の請求金額は、<input type="text"/>円です。</p> <p>和解の仲介を求める事項及び理由<br/>東京電力の請求書では、慰謝料などが低すぎます。<br/>東京電力の請求書には、申立人の請求をどこに書いてよいか分かりません。<br/>東京電力への直接請求ではなく、紛争解決センターでの解決を望みます。<br/>私は、次のように考えています。</p> |
|        | <p>2 その他の和解の仲介に関し参考となる事項<br/>弁護士を頼む予定です。<br/>自分で進めたいと思います。<br/>私は下記のようにしたいと希望しています。</p>  |

やさしい原発事故損害賠償申出書

平成 年 月 日

原子力損害賠償紛争解決センター 御中

|                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 申<br>立<br>人<br>計<br>名 | 住所（現在）〒         |
|                       | （事故時）〒          |
|                       | 氏名 ( 年 月 日 生まれ) |
|                       | 氏名 ( 年 月 日 生まれ) |
|                       | 氏名 ( 年 月 日 生まれ) |
|                       | 氏名 ( 年 月 日 生まれ) |
|                       | TEL - - FAX - - |

## 第1 心の損害（慰謝料）

どれかお一つをお選びください。

私は、原発事故により次のような心の苦しみを受けました。ですので、事故を起こした東京電力に対して、相当な金額の慰謝料を請求します。

私は、原発事故により次のような心の苦しみを受けました。ですので、事故を起こした東京電力に対して、月額円の慰謝料を請求します。

私の家族は人ですので、家族全員分として月額円の慰謝料を請求します。

私の避難先で亡くなった家族の分として、月額円の慰謝料を請求します。

### （1）避難に関わること

ご自分に当てはまるものを全てお選びください。

避難生活が半年以上の長期にわたり、先の見えない不安感が非常に強くなっています。

避難生活が半年以上の長期にわたり、特に就業・再就職の点に不安が強くなっています。

避難生活が半年以上の長期にわたり、特に教育・進学の点に不安が強くなっています。

避難生活が半年以上の長期にわたり、特に事業の再開の点に不安が強くなっています。

避難生活が半年以上の長期にわたり、盆も正月にも落ち着いて迎えられず、避難当初よりも辛くなる場合があります。

私又は私の家族は、避難することができないために、放射線の目に見えない恐怖にさらされる苦しみを味わっています。

私又は私の家族は、上記以外にも、避難生活で次のような苦しみにあいました。

（次ページへ続く）

( )

### (2) 住居に関わること

仮設住宅に入っているため、孤独感が強いです。

仮設住宅に入っているため、( )点が辛  
いです。

アパート等に入っているため、孤独感が強いです。

アパート等に入っているため、( )点が  
辛いです。

親戚宅・友人宅に避難していた期間は、( )点が  
相手方に申し訳なく辛かったです。

避難所で生活しているため、( )点が辛  
いです。

避難生活(a 避難所, b 仮設住宅, c アパート)では、居住スペースがあま  
りにも狭いため、家族のプライバシーが保てません。

私又は私の家族は、上記以外にも、避難生活で次のような苦しみにあいま  
した。

( )

### (3) 身体・病気に関わること

避難生活で、不眠症 (a 寝付きが悪い b 途中で目が覚める c 早朝に目が  
覚めてしまう d 寝ても疲れが取れない)になりました。

避難生活で、a 便秘 b 下痢 c 膀胱炎 d 痔 e 円形脱毛症になりました。

避難生活で、a 胃痛 b 頭痛に悩まされています。

避難生活で、a 肩こり b 腰痛 c 疲労感に悩まされています。

避難生活で、目に見えてa 白髪 b 薄毛部分 c シワ が増え、その他の老化現象（ ）が進みました。

避難生活で、風邪をひきました。

避難生活で、インフルエンザにかかりました。

避難生活で、うつ病になりました。

避難生活で、病気（ ）になりました。

避難生活で、持病（ ）が悪化しました。

避難生活で、入院しました。

( 病名 病院名  
入院日数 )

私又は私の家族は、上記以外にも、避難生活で次のような病気に苦しみました。

( )

#### (4) 被ばくに関わること

私は、事故当時における自分の被ばく量が分からないため、今後の一生にわたる健康にどのような影響を及ぼすのか不安を持っています。

私は、子ども（ 才， 才， 才）について、事故当時の被ばく量が分からないため、今後の健康にどのような影響を及ぼすのか不安を持っています。

私は、事故当時における家族（ ）の被ばく量が分からないため、今後の健康にどのような影響を及ぼすのか不安を持っています。

東京電力から、除染について、いつまでに、どの位の除染が進むのか明確な計画が示されないため、新たな今後の被ばくについても、不安を持っています。

私は、被ばくに関する医療機関体制の整備がなされていないため、今後被ばくを原因とした病気を発生した場合に、どこで、どのような治療を行ってもらえるのか不安を持っています。

私は、上記以外にも、被ばくについて次のような不安を持ち、苦しんでいます。

( )

### (5) 家族関係に関わること

避難生活のストレスで、夫婦ケンカが増えました。

避難生活のストレスで、家庭内暴力(a 暴言を吐く b 怒鳴り声をあげる c 物を投げる・壁をける d たたく e 殴る f 蹴飛ばす g 望まない性交渉を強いる h お金を渡さない i \_\_\_\_\_)が増えました。

避難生活のストレスで、親子ケンカが増えました。

避難生活のストレスで、親族の仲が悪くなりました。

放射性汚染物質について、東京電力から正確な情報提供が速やかに行われなかったために、家族・親族の中で意見がバラバラとなり、未だに険悪な状態です。

避難生活の中で、家族が分離して住むようになりました。

( )

避難生活が続くうちに、次第に、夫婦の会話が無くなりました。

避難生活が続くうちに、次第に、親子の会話が無くなりました。

避難生活の中で、夫婦の性交渉ができなくなりました。

避難生活の不安定さと、放射線汚染の不安の中で、子どもを授かる喜びが持てなくなり、(a 避妊 b 墮胎 )せざるをえなくなりました。

避難生活の中で、離婚しました。

避難生活の中で、家族( )と死別しました。

避難生活の中で、故人の年忌供養ができませんでした。

(次ページへ続く)

私又は私の家族は、上記以外にも、避難生活で次のような家族関係の苦しみにあいました。

( )

**(6) お年寄りに関わること**

私又は私の家族のお年寄り(        歳,        歳)は、過酷な避難生活の中で次のような状態になりました。

避難生活の中で、容態が悪くなり(a 認知症状が進み b 歩行が困難になり c 排泄・排便が1人でできなくなり d 介護が必要になり e 介護認定として\_\_\_\_\_が認定され)ました。

避難生活の中で、容態が悪くなり、家族と離れて、介護施設に入居せざるを得なくなりました。

避難生活の中で、急に容態が悪くなり(H     年     月     日)から(a 月     日まで、入院しました。b 現在まで入院しています)。

避難生活の中で、急に容態が悪くなり(H     年     月     日)に死亡しました。

私又は私の家族のお年寄りは、上記以外にも、過酷な避難生活の中で次のよう苦しみに出会いました。

( )

**(7) 子どもに関わること**

子どもが、不安定になりました(a 夜泣きをする b 夜尿 c 親から離れない d 昼間もよく泣く)。

子どもが、病気がちになりました。

子どもが、転園（保育園，幼稚園）しました。  
子どもが、転校（小学校，中学校，高校）しました。  
子どもが、友人を失いました。  
子どもが、落ち着かず，勉強をしなくなりました。  
子どもが，外で遊べなくなりました。  
子どもが，学校に行きたがらなくなりました。  
子どもが，不登校になりました。  
子どもの学力が低下しました。  
上記以外にも，次のような変化が子どもに起きました。

( )

**( 8 ) ペットに関わること**

避難のため，家族同様のペットを置き去りにしてきたことが今でも辛いです。  
避難生活の中で，ペットを手放しました。  
避難生活の中で，ペットが死にました。  
私又は私の家族は，上記以外にも，ペットのことで次のような苦しみにありました。

( )

**( 9 ) 自然環境に関わること**

福島県（                      市・町 ）での自然との共生の暮らしを失いました。  
畑仕事ができなくなりました。  
田仕事ができなくなりました。



海釣りができなくなりました。

川釣りができなくなりました。

庭木（ ）の世話をすることができなくなりました。

四季折々の自然の恵み（ ）を

楽しむことができなくなりました（例：春は山菜，夏は川で鮎取り，秋はキノコ採り，冬は山芋掘り等）。

私又は私の家族は，上記以外にも，故郷の自然を失ったことで次のような苦しみにあいました。

( )

#### (10) 友人関係に関わること

私は，近所に住む永年交際してきた友人と会えなくなりました。

私又は私の家族は，上記以外にも，故郷の友人を失ったことで次のような苦しみにあいました。

( )

#### (11) コミュニティーに関わること

私は，近所の行きなれたお店（商店街）に買い物に行くことができなくなりました。

私は，近所の行きなれた a 公園，b 病院，c 公民館，d 自治会，e 老人会，f 婦人会，g 子ども会，h 図書館，i 役場に行くことができなくなりました。

私又は私の家族は，上記以外にも，近所周りの生活を失ったことで次のような苦しみにあいました。

(次ページへ続く)

( )

**(12) 喪失感，生きがいに関わること**

避難生活が続く中で，夫婦関係が悪くなり，離婚したことで大きな喪失感を味わいました。

避難生活のため，( a 子供 b 孫 ) との別離を余儀なくされ，大きな喪失感を味わっています。

避難生活の中で，( ) が体調を崩して死亡し，大きな喪失感を味わいました。

避難のために，やむなく自宅に置いてきたペットが死亡し，大きな喪失感を味わいました。

避難のため，長年従事していた仕事を辞めなければならなくなり，生きがいを失いました。

その他にも，避難生活が原因で，次のようなものを失い，大きな喪失感を味わったり，生きがいをなくしたりしました。

( )

- (13) 私又は私の家族は、前記(1)から(10)以外にも、次のようなことで心の苦しみを受け、また現在も受けています(必要に合わせて用紙を足してください)。

( )

## 第2 かった費用(事故があったことにより、余分にお金 が出て行った損害)

どれかお一つをお選びください。

私の家庭では、現在は、まだ生活が落ち着かないため、次回に請求します。

私の家庭では、慰謝料金額の中に含めてもらい、慰謝料を増額していただき  
たいと思います。

私の家庭では、次のような費用が、原発事故が起きたために余分にかかる  
ようになりましたので請求します。

### (1) 移動費用

ご自分に当てはまるものを全てお選びください。

私は、原発事故から避難するために次の手段を使い \_\_\_\_\_ から、  
\_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ km) まで避難し、費用がかかりました  
ので  円 を請求します。

自家用車 \_\_\_\_\_ 円

電車 \_\_\_\_\_ 円

その他 \_\_\_\_\_ 円

### (2) 宿泊費

私は、原発事故から次の場所に避難滞在し、 円の費用  
がかかりましたので請求します。

旅館・ホテル等 \_\_\_\_\_ 円

アパート等

家賃 月額 \_\_\_\_\_ 円 × \_\_\_\_\_ か月(平成23年 \_\_\_\_\_ 月 ~ \_\_\_\_\_ 月まで) \_\_\_\_\_ 円

礼金・その他 \_\_\_\_\_ 円

親戚・知人宅への礼金 \_\_\_\_\_ 円

その他

( )

### (3) 家財道具の購入費

私は、原発事故から避難し、次の物を購入せざるをえなくなり、合計

円の費用がかかりましたので請求します (必要に合わせて用紙を足してください。)

|                       |         |
|-----------------------|---------|
| 冷蔵庫                   | _____ 円 |
| 電子レンジ                 | _____ 円 |
| 浄水器                   | _____ 円 |
| 食器棚                   | _____ 円 |
| 食器・調理用具一式 ( _____ 人分) | _____ 円 |
| 食卓・ダイニングテーブルセット       | _____ 円 |
| TV                    | _____ 円 |
| TV ボード                | _____ 円 |
| 洗濯機                   | _____ 円 |
| 乾燥機                   | _____ 円 |
| 掃除機                   | _____ 円 |
| 寝具 ( _____ 人分)        | _____ 円 |
| ベッド ( _____ 台)        | _____ 円 |
| 勉強机 ( _____ 台)        | _____ 円 |
| 本棚 ( _____ 台)         | _____ 円 |
| 洋服ダンス・収納家具            | _____ 円 |
| 扇風機 ( _____ 台)        | _____ 円 |
| エアコン                  | _____ 円 |
| ストーブ・暖房器具             | _____ 円 |
| こたつ                   | _____ 円 |



\_\_\_\_\_円  
\_\_\_\_\_円

#### (4) 食費等の増加分

私の家庭(家族 人)では、原発事故から避難したため、次のような理由から月額平均で、約 \_\_\_\_\_ 円の食費の増加分がありましたので、合計  (平成 23 年 月 ~ 年 月分) の費用を請求します。

米を作って自家消費していたものを購入しなければならなくなりました。  
野菜を作って自家消費していたものを購入しなければならなくなりました。  
魚を捕って自家消費していたものを購入しなければならなくなりました。  
肉・卵・牛乳等を作って自家消費していたものを購入しなければならなくなりました。

事故前に住んでいた街( )より、現在住んでいる街( )の方が物価が高いため。  
次のような事情によります。

( )

#### (5) 教育費の増加分

私の家庭では、原発事故から避難したため、次のような理由から、子ども( 才, 才, 才, 才)の教育費の増加分がありましたので、合計  (平成 23 年 月 ~ 年 月分) の費用を請求します。

子どもの転園(a 保育園 b 幼稚園)に伴い,(a 制服 b カバン c 上履き d 体操服 e \_\_\_\_\_ f \_\_\_\_\_ g \_\_\_\_\_)を買い直しせざるを得なくなりました。

子どもの絵本,おもちゃの買い直し費用。

子どもの転校(a 小学校 b 中学校 c 高校 d 専門学校 e 短大 f 大学)に伴い,(a 制服 b カバン c 上履き d 体操服 e 体育館履き f 文房具・

学習用品 g クラブ活動用品 h \_\_\_\_\_ l \_\_\_\_\_ j \_\_\_\_\_)を  
買い直しせざるを得なくなりました。

子どもの書籍，参考書の買い直し費用。

次のような事情によります。

( )

### (6) 交通・通信費の増加分

私の家庭では，原発事故から避難したため，次のような理由から月額平均で，  
約 \_\_\_\_\_ 円の交通費・通信費の増加分がありましたので，合計金額と  
して \_\_\_\_\_ 円(平成23年 月～ 年 月分)の費用を請求します。

固定電話が使えず，携帯電話になり通話料金が増えました。

家族が離れて暮らさざるを得なくなり，家族に会うための交通費が増えま  
した。

避難生活で，通勤先が遠距離( \_\_\_\_\_ )になっ  
たため交通費が増えました。

次のような事情によります。

( )

### (7) 被服費の増加分

私の家庭では，原発事故から避難したため，月額平均で，約 \_\_\_\_\_ 円  
の被服費(a 春物衣料品 b 夏物衣料品 c 秋物衣料品 d 冬物衣料品  
f \_\_\_\_\_)の増加分がありましたので，合計金額として \_\_\_\_\_ 円(平  
成23年 月～ 年 月分)の費用を請求します。



次のような事情によります。

( )

**( 8 ) 医療費の増加分**

私の家庭では、原発事故から避難したため、次のような理由から月額平均で、約 \_\_\_\_\_ 円の医療費及び医療関係費の増加分がありましたので、合計金額として \_\_\_\_\_ 円(平成 23 年 月 ~ 年 月分)の費用を請求します。

避難生活の中で、免疫力が落ちカゼをひきやすくなりました。

避難生活の中で、健康状態の悪化を防ぐために、余分に費用がかかるようになりました。

避難生活で、病気( )になりました。

避難生活で、持病( )が悪化しました。

避難生活で、入院しました。

(病名 \_\_\_\_\_ 病院名 \_\_\_\_\_ )  
入院日数 \_\_\_\_\_ )

次のような事情によります。

( )

**( 9 ) 検査費用・ガイガーカウンターの購入費等**

私の家庭では、原発事故から避難したため、次のような理由から増加分があ

りましたので、合計金額として  円(平成 23 年 月 ~ 年 月分)の費用を請求します。

|               |        |
|---------------|--------|
| 放射線汚染の検査費     | _____円 |
| ガイガーカウンターの購入費 | _____円 |
|               | _____円 |
|               | _____円 |

**(10) 一時帰宅費用等**

私の家庭では、原発事故から避難したため、次のような理由から増加分がありましたので、合計金額として  円(平成 23 年 月 ~ 年 月分)の費用を請求します。

|    |   |   |       |        |
|----|---|---|-------|--------|
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |
| 平成 | 年 | 月 | 日一時帰宅 | _____円 |

**(11) ペットに関する費用**

私の家庭では、原発事故から避難したため、次のような理由からペットに関する増加分がありましたので、合計金額として  円(平成 23 年 月 ~ 年 月分)の費用を請求します。

|      |              |        |
|------|--------------|--------|
| ペット( | )を業者に預けている費用 | _____円 |
| ペット( | )を知人に預けている費用 | _____円 |
|      |              | _____円 |

**(12) その他**

私の家庭では、原発事故から避難したため、次のような理由から増加分がありましたので、合計金額として  円 (平成 23 年 月 ~ 年 月 分) の費用を請求します。

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

\_\_\_\_\_ 円

### 第3 減ったお金(入ってくる予定だったお金が,事故により入らなくなってしまった分の損害)

私の家庭では,現在は,まだ生活が落ち着かないため,次回に請求します。  
私の家庭では,次のような収入(給料等)が,原発事故が起きたために入らなくなってしまったので請求します。

- (1) 氏名
- (2) 勤務先

| 期間      | 日数 | 期間内の総額 | 平均額    |    |
|---------|----|--------|--------|----|
|         | 日  | 円      | 円      |    |
| (3) 損害額 |    | 休業日数   | 休業損害額  | 備考 |
|         |    | ×<br>日 | =<br>円 |    |

- (1) 氏名
- (2) 勤務先

| 期間      | 日数 | 期間内の総額 | 平均額    |    |
|---------|----|--------|--------|----|
|         | 日  | 円      | 円      |    |
| (3) 損害額 |    | 休業日数   | 休業損害額  | 備考 |
|         |    | ×<br>日 | =<br>円 |    |

やさしい原発事故損害賠償申出書

- ( 1 ) 氏名
- ( 2 ) 勤務先

| 期間        | 日数 | 期間内の総額 | 平均額   |    |
|-----------|----|--------|-------|----|
|           | 日  | 円      | 円     |    |
| ( 3 ) 損害額 |    | 休業日数   | 休業損害額 | 備考 |
|           | ×  | 日      | =     | 円  |

- ( 1 ) 氏名
- ( 2 ) 勤務先

| 期間        | 日数 | 期間内の総額 | 平均額   |    |
|-----------|----|--------|-------|----|
|           | 日  | 円      | 円     |    |
| ( 3 ) 損害額 |    | 休業日数   | 休業損害額 | 備考 |
|           | ×  | 日      | =     | 円  |



## 第5 不動産の損害（賃料相当分など）について

私の家庭では、現在は、まだ生活が落ち着かないため、次回に請求します。

私の家庭では、原発事故により、次の不動産を利用できないために、不動産を利用することができるようになるまでの賃料相当分の損害金を請求します。

（なお、二重取りをさけるために、避難のために使った宿泊費（第2（2））と、この賃料相当損害金とでは、どちらか高い金額を支払ってください。）

私の家庭では、原発事故が起きたため、次の不動産の価値が喪失もしくは低減してしまったため、その損害金を請求します。

### （1）不動産の所有者（権利関係）

（  
  
  
  
  
  
  
）

### （2）不動産の説明（どこにあるか、用途、面積など）

（  
  
  
  
  
  
  
）

## 第6 すでに受領した金額

私の家庭では、すでに、次の金額については、東京電力又は国から受領していますので、上記の請求金額から除いてください。

私の家庭では、すでに、次の金額については、東京電力又は国から受領していますが、次回の請求金額（ ）から除いてください。

|         |   |        |
|---------|---|--------|
| 仮払い補償金（ | ） | _____円 |
| 本払い賠償金（ | ） | _____円 |
| 損害保険金   |   | _____円 |
|         |   | _____円 |

## 第7 弁護士にかかる費用について

私の家庭では、原発事故が起きたため、損害を被り、弁護士を頼まざるをえなくなったので、弁護士費用分（支払が認められた金額の10%）を付けていただきたいと思います。

私は、弁護士費用については、次のように考えます。

( )



## 第8 支払が遅れていること（遅延損害金）について

私は、東京電力からのお金の支払いが遅れているために、これまで、いろいろな苦勞をしました。したがって、法律のとおり、請求金額に利息をつけていただきたいと思います。

すなわち、第1から第5の請求金額に、平成23年3月11日から支払が終わる日までの遅延損害金年5%を付けてください。

私は、遅延損害金については、次のように考えます。

( )

以上

## やさしい原発事故損害賠償申出書の使い方

### 1 封筒の宛先

- ・ 申出書の入る大きめの封筒を用意しましょう（角3）。
- ・ 手元に必ずコピーを残しましょう。
- ・ 費用は無料です。
- ・ 宛先はこちらです。

< 東京 >

〒105 - 0004

東京都港区新橋1 - 9 - 6 COI新橋ビル3階

原子力損害賠償紛争解決センター東京事務所 受付担当

< 福島 >

〒963 - 8811

福島県郡山市方八町1-2-10 郡中東口ビル2階

原子力損害賠償紛争解決センター福島事務所 受付担当

### 2 申立てとその後の流れ

申出書を郵送します。

紛争解決センターから、連絡（手紙等）がきます。

紛争解決センターが、あなたの主張と東京電力の両方のお話を聞きます。あなたの主張と東京電力の主張が合意した場合には、和解書を作成してくれます。（その後は、和解書の内容に沿って、東京電力からの振込があります）。

もしも、あなたの主張と東京電力の主張が合わない場合には、紛争解決センターが専門家の立場から「**仲介案**」を作成してくれます。

上記「**仲介案**」で、あなたと東京電力が合意した場合には、和解が成立し、その後、和解書の内容に沿って、東京電力からの振込が始まります。紛争解決センター作成の「**仲介案**」について、あなたが仲介案の内容に不満の場合には、和解は成立せず、あなたは、裁判所に東京電力を相手方とする訴訟を起こすことができます。なお、東京電力については、国より仲介案を尊重するよう方針が出される予定です。

### 3 弁護士への依頼の仕方

全国各地の弁護士会においては、震災無料法律相談を行なっています。まずは、弁護士による無料の相談や説明を受けて納得できた場合にご依頼ください。（裏面をご覧ください）。

# 1 個別事件の御相談・御依頼（弁護士等）

下記以外にも各地で弁護士結成の動きがありますが、新たな情報は日弁連のHP等で情報提供していきます。

|   |  |
|---|--|
| <b>福島県弁護士会 原子力発電所事故被害者救済支援センター</b><br>TEL 024-533-7770（平日 10:00～15:00）（つながりにくいこともありますが、御了承ください。）<br>URL <a href="http://business3.plala.or.jp/fba/sinsai_soudan/pdf/kyusaisien.pdf">http://business3.plala.or.jp/fba/sinsai_soudan/pdf/kyusaisien.pdf</a> |  |
| <b>新潟県弁護士会原発事故被害者サポートセンター</b><br>TEL 025-222-5533（平日 10:00-16:00）<br>URL <a href="http://www.niigata-bengo.or.jp/">http://www.niigata-bengo.or.jp/</a>  | <b>茨城県弁護士会原子力発電所事故被害者救済支援センター</b><br>TEL 029-222-7072（平日 10:00-15:00）<br>URL <a href="http://www.ibaben.or.jp/post-46.html">http://www.ibaben.or.jp/post-46.html</a> |
| <b>東京 原発被災者弁護士団</b><br>TEL 0120-730-750<br>URL <a href="http://ghb-law.net/">http://ghb-law.net/</a>  | <b>横浜 福島原発被害者支援かながわ弁護士団</b><br>TEL 045-651-5052（平日 10:00-15:00）<br>URL <a href="http://bashamichi-law.jp/topic/823/">http://bashamichi-law.jp/topic/823/</a>         |
| <b>埼玉 原発被害救済弁護士団</b><br>TEL 048-642-3883<br>URL <a href="http://genpatsu.bengodan.jp/">http://genpatsu.bengodan.jp/</a>   | <b>千葉 原発被害救済千葉県弁護士団</b><br>TEL 043-222-1831<br>URL 未定  |
| <b>群馬 原子力損害賠償群馬弁護士団</b><br>TEL 027-251-7871<br>URL <a href="http://gunmagenpatsu.bengodan.jp/">http://gunmagenpatsu.bengodan.jp/</a>  | <b>大阪 原発事故被災者支援大阪弁護士団</b><br>TEL 06-6362-9615<br>URL 未定  |
| <b>愛知 福島原発事故損害賠償愛知弁護士団</b><br>TEL 052-968-7535（平日 9:00-18:00）<br>URL 未定   | <b>広島 原発損害賠償請求を支援する弁護士の会</b><br>TEL 082-225-1600（紙屋町法律相談センター）<br>「原発損害賠償の件」とお伝えください。   |
| <b>山形県弁護士会原子力発電所事故被害者救済支援センター</b><br>TEL 023-635-3648<br>URL 未定   | <b>札幌 原発事故被災者支援札幌弁護士団</b><br>TEL 011-251-1771<br>URL 未定  |

## 2 弁護士会の相談窓口

なお、こちらは原発事故損害賠償請求に関する専用の相談窓口ではなく、原発事故も含む東日本大震災に関する相談窓口になりますので、御注意ください

### 東日本大震災電話相談

TEL 0120-366-556（フリーダイヤル）（平日 10:00～15:00）  
 主催 日本弁護士連合会、東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会

### その他の弁護士会の震災無料相談窓口

以下の日弁連のHP又は各弁護士会のHPを御覧いただくか、各弁護士会の代表電話でお尋ねください。

[http://www.nichibenren.or.jp/activity/human/higashinohon\\_daishinsai/saigaihhukou\\_2.html](http://www.nichibenren.or.jp/activity/human/higashinohon_daishinsai/saigaihhukou_2.html)

| 弁護士会 | 電話番号(代表)     | 弁護士会 | 電話番号(代表)     | 弁護士会 | 電話番号(代表)     |
|------|--------------|------|--------------|------|--------------|
| 東京   | 03-3581-2201 | 和歌山  | 073-422-4580 | 宮崎県  | 0985-22-2466 |
| 第一東京 | 03-3595-8585 | 愛知県  | 052-203-1651 | 沖縄   | 098-865-3737 |
| 第二東京 | 03-3581-2255 | 三重   | 059-228-2232 | 仙台   | 022-223-1001 |
| 横浜   | 045-201-1881 | 岐阜県  | 058-265-0020 | 福島県  | 024-534-2334 |
| 埼玉   | 048-863-5255 | 福井   | 0776-23-5255 | 山形県  | 023-622-2234 |
| 千葉県  | 043-227-8431 | 金沢   | 076-221-0242 | 岩手   | 019-651-5095 |
| 茨城県  | 029-221-3501 | 富山県  | 076-421-4811 | 秋田   | 018-862-3770 |
| 栃木県  | 028-622-2008 | 広島   | 082-228-0230 | 青森県  | 017-777-7285 |
| 群馬   | 027-233-4804 | 山口県  | 083-922-0087 | 札幌   | 011-281-2428 |
| 静岡県  | 054-252-0008 | 岡山   | 086-223-4401 | 函館   | 0138-41-0232 |
| 山梨県  | 055-235-7202 | 鳥取県  | 0857-22-3912 | 旭川   | 0166-51-9527 |
| 長野県  | 026-232-2104 | 島根県  | 0852-21-3225 | 釧路   | 0154-41-0214 |
| 新潟県  | 025-222-5533 | 福岡県  | 092-741-6416 | 香川県  | 087-822-3693 |
| 大阪   | 06-6364-0251 | 佐賀県  | 0952-24-3411 | 徳島   | 088-652-5768 |
| 京都   | 075-231-2378 | 長崎県  | 095-824-3903 | 高知   | 088-872-0324 |
| 兵庫県  | 078-341-7061 | 大分県  | 097-536-1458 | 愛媛   | 089-941-6279 |
| 奈良   | 0742-22-2035 | 熊本県  | 096-325-0913 |      |              |
| 滋賀   | 077-522-2013 | 鹿児島県 | 099-226-3765 |      |              |